

問1 次のア～エの説明に当てはまる語を、あとの①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。(各2点)

ア 理性では抑えることのできない強い感情。激情。

イ 二つの相反する事柄の板ばさみになること。

ウ 人々の考え方や行動を根底で制限している信念や思想。

エ 一見すると真理に背いているように見えて、実は一面の真理を言い表している表現。

- ① イデオロギー ② パトス ③ デイレンマ ④ パラドックス ⑤ モチーフ

ア () イ () ウ () エ ()

問2 次のア～ウは、「一元論」・「二元論」・「多元論」のどの立場での説明か。それぞれ記せ。(各3点)

ア 肉体と精神は別個のものであるので、たとえ肉体が死んでしまったとしても、精神は生き続けるはずだ。

イ 人間は、家族・学校の友人・趣味や習い事の仲間など、さまざまな人間関係を結んでいるので、一概に

その関係を説明することはできない。

ウ 人間も自然の一部なのだから、自然・人工と分けて考えることは、あまり意味がない。

ア () イ () ウ ()

問3 「恣意」の読み仮名を平仮名で記せ。また、「恣意」の意味として適切なものを、次の①～④の中から一

つ選べ。(読み3点、意味3点)

① 自分勝手であること。明確な根拠がないこと。

② 他人任せであること。根拠を求めないこと。

③ 不意に思いついたこと。その場で考えたこと。

④ 不本意なこと。意志の通りにならないこと。

読み () 意味 ()

問4 次の空欄ア～カに当てはまる語を、あとの①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選べ。(各3点)

・常識など、証明しなくても明らかであることや、当然であることを(ア)と言う。しかし、(ア)の事柄をそのまま受け入れることなく、その意味や価値について一度は(イ)的思考をもつことも重要だ。

・夢には、普段表れることのない(ウ)的な「欲求」や「不安」などが反映されているという説がある。

・「赤い食べ物」という言葉は「りんご」や「いちご」という言葉に比べて(エ)的だ。

・評価方法には、「八十点以上はA」「六十点以上八十点未満はB」などと一定の基準にのつとる(オ)評価や、母集団の中で比較してA・Bの成績をつける(カ)評価などがある。

- ① 顕在 ② 相対 ③ 自明 ④ 具体 ⑤ 絶対 ⑥ 懐疑 ⑦ 抽象 ⑧ 潜在

ア () イ () ウ () エ () オ () カ ()

問5 次のア～ウについて、「疎外」の例として適切な場合は「○」、不適切な場合は「×」を記せ。(各3点)

ア 生産活動では効率性が重視されるため、生産する人間の感性・思いは排除される。

イ うちそをついて信用を失ったため、友人たちから仲間はずれにされてしまう。

ウ 現代では情報があふれているため、かえって重要な情報が見落とされてしまう。

ア () イ () ウ ()